令　和　６　年　度

学校関係者評価
報告書

令和７年５月１９日

光塩学園調理製菓専門学校

令和６年度 光塩学園調理製菓専門学校 学校関係者評価委員会

１　日　時：令和７年５月 13 日（火）　16:30～17:30

２　場　所：光塩学園調理製菓専門学校　２階役員室

３　委　員（敬称略）

＜委　員＞

・萩原　荘介（株式会社ドン･バロン代表取締役）

・森下　隆平（大通地区西 14 丁目町内会会長）

・龍　　梓（酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校教諭）

＊五十音順

＜学校側＞

・南部ユンクィアンしず子（理事長）

・古川　充　（法人本部事務次長）

・髙橋　俊介（学校長・本会委員長）

・野村　一正（校長補佐　教務広報部長）

４　次　第　　司会：委員長（髙橋）

(1) 開　会

(2) 理事長挨拶

(3) 自己紹介

(4) 協　議

ｱ 学校概要説明

・沿革

・理念，教育目標　等

・学生の状況　他

ｲ 令和６年度自己評価結果の報告及び意見交換

ｳ まとめ

(5) 学校長挨拶

(6) 閉　会

5　教育理念・教育目標・重点目標

＝教育理念＝

建学の精神である“光と塩”に基づき、豊かな知性・徳性・技術を磨く。

≪教育目標≫

情操豊かで、高い見識と専門的な知識・技能を備えた社会人の育成を目指す。

＜重点目標＞

(1) 将来、長きに渡り活躍できる職業人を育成する為の教育の質の向上に努める。

(2) 技術の向上及び社会性を獲得するための指導の推進、改善に努める。

(3) 各法令、設置基準及びガイドラインに則った適正な学校運営を行う。

6　評価項目の取組状況・達成状況

1　教育理念・目的・育成人材像

評　価　項　目	自　己　評　価 適　切…4　　ほぼ適切…3 やや不適切…2　　不適切…1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	4　　(4)
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の 3～5 年後を見据えた将来構想を抱いているか	3　　(3)
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4　　(4)
学校における職業教育の独自の特色として挙げられているものはあるか	4　　(4)

＊（　）内は昨年の評価

〔現状と課題〕

- 建学の精神である「光と塩」に基づき教育理念や３つのポリシーを定め、食を通して心の育成と探求心の追及を図り、高度な技術を身に付けるとともに、実際の社会や現場で即戦力として活躍できる人材の育成を目指している。
- しかしながら、恒常的な１８歳人口の減少に加え、他校や企業等における深刻な労働力不足を背景とした人材獲得の競合があることから、引き続き入学者確保に努める必要がある。
- 近年、社会人や既卒者のほか、少数ながらも外国人からも本校に関する問い合わせが増えてきていることから、幅広い対象者に向けた情報発信に努める必要がある。

〔改善の方策〕

- 教職員による各種会議やミーティングを通じ、教育の重点目標の更なる浸透を図る。
- 高校生や社会人を始め広くニーズを把握し、SNS を含めた様々な広報媒体を活用し情報発信に努める。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- 特になし。

2　学校運営

評　価　項　目	自　己　評　価 適　切…4　　ほぼ適切…3 やや不適切…2　　不適切…1
目的等に沿った運営方針および事業計画が策定されているか	4　　(4)
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4　　(4)
人事、給与に関する規程等は整備されているか	4　　(4)
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4　　(4)
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4　　(4)

〔現状と課題〕

・学校運営を円滑に行うため、年度計画を基に各種会議等を実施し、課題や問題点を共有し、共通認識で進めて行くよう努めている。

・しかしながら、各教職員が職務分掌を基に業務を進めているが、臨機応変に対応が求められるケースもあり、学校組織における人員減少による職員の効率的かつ機能的な配置について難航している。

〔改善の方策〕

・年度当初の事業計画・予算案に基づき、月毎の定例会議において進捗状況を確認するとともに、課題や問題点等を教職員全体で把握し、コミュニケーションを密に図り、スムーズな意思決定が図れるよう努める。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

・特になし。

3　教育活動

評　価　項　目	自　己　評　価 適　切…4　　ほぼ適切…3 やや不適切…2　　不適切…1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4　　(4)
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4　　(4)
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4　　(4)
関連分野における実践的な職業教育（校外実習等）が体系的に位置づけられているか	4　　(4)
授業評価の実施･評価体制はあるか	3　　(3)
職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3　　(4)
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4　　(4)
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4　　(4)
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4　　(4)
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3　　(3)
他の教育機関との間の単位互換に関する明確な基準はあるか	4　　(4)

〔現状と課題〕

・企業説明会や職場体験実習の実施にあたり、企業側担当者等との意見交換内容を踏まえたカリキュラム編成への反映に努めている。
・養成施設として決められたカリキュラムをこなしつつ、広範囲にわたる授業を行うために工夫する必要がある。

〔改善の方策〕

・専門学校の大きな役目である「就職」を視野に入れて、企業・業界団体との更なる連携を図り、時代のニーズを反映させたカリキュラム編成に努める。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

・YouTube を活用した職員研修も有効ではないか。

4　学習成果

評　価　項　目	自　己　評　価 適　切…4　　ほぼ適切…3 やや不適切…2　　不適切…1
就職率の向上が図られているか	4　　(4)
資格取得率の向上が図られているか	4　　(3)
退学率の低減が図られているか	4　　(3)
卒業生・在校生の外部での活躍及び評価を把握しているか	4　　(4)

〔現状と課題〕

・個々の学生の希望や適性に合わせた進路指導を行うとともに、企業・業界団体との連携により、就職率は 100%を維持している。

・担任を中心に学生個々の出席、学習状況を把握し、学生指導を実施したことから、退学率は減少した。

〔改善の方策〕

・これまで以上に担任と保護者との連携を密にすることや、精神面で課題を抱える学生を早期に発見するために、普段からのコミュニケーションに加え、必要に応じた面談を実施するなど、教職員の意識を高めるよう努める。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

・特になし。

5　学生支援

評　価　項　目	自　己　評　価 適　切…4　　ほぼ適切…3 やや不適切…2　　不適切…1	
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	(4)
学生相談に関する体制は整備されているか	4	(4)
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	(4)
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	(4)
保護者と適切に連携しているか	4	(4)
卒業生への支援体制はあるか	4	(4)
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	(3)

〔現状と課題〕

・経済的支援として本校独自のサポート制度により支援を行っている。
・学生の悩みが多様化している。

〔改善の方策〕

・国の修学支援制度を有効活用し、学生の経済的支援を更に充実させる。
・学生相談については、各教員が学生にとって相談しやすく話しやすい環境作りに努め、必要に応じて専門家の助言を仰ぐ。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

・特になし。

6　教育環境

評　価　項　目	自　己　評　価 適　切…4　　ほぼ適切…3 やや不適切…2　　不適切…1
施設・設備は、メンテナンスも含め教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4　　(4)
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4　　(3)
避難訓練を含む防災に対する体制は整備されているか	4　　(4)

〔現状と課題〕

・本校では、実習内容に照らし、それぞれ専門の実習室を備え充実化している。
・建物全体の使用経過年数に応じた計画的なメンテナンスが必要である。

〔改善の方策〕

・教育活動に支障が生じないよう、設備の全体の計画的なメンテナンスを行ったうえで、AV 機器の老朽化に伴う対応も検討する。
・防災体制については、関係機関との更なる連携を深めていく。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

・実習服の在り方を検討されては如何か。

7　学生の受け入れ募集

評　価　項　目	自　己　評　価 適　切…4　　ほぼ適切…3 やや不適切…2　　不適切…1
学生募集活動は、適正に行われているか	4　　(4)
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4　　(4)
入学選考は、適正に行われているか	4　　(4)
学納金は妥当なものとなっているか	4　　(4)
志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制はあるか	4　　(4)

〔現状と課題〕

・入学者確保のための取組として、オープンキャンパス等のイベント実施回数を増やすとともに、SNS 等を活用し在校生の授業風景や卒業生の近況などを伝えてきた。
・本校に関心がある遠方の方など来校が難しい方に対する対応を工夫する必要がある。

〔改善の方策〕

・本校の他校にない特色や差別化などの観点からの情報提供に、なお一層内容の工夫に努める。
・学生募集活動については、オープンキャンパスやイベント内容の工夫、SNS の活用方法について更なる検討に努める。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

・早期から入学意思のある生徒に対する特別奨学金制度を検証されては如何か。

8　財　　務

評　価　項　目	自　己　評　価 適　切…4　　ほぼ適切…3 やや不適切…2　　不適切…1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3　　(3)
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4　　(3)
財務について会計監査が適正に行われているか	4　　(4)
財務情報公開の体制整備はできているか	4　　(4)

〔現状と課題〕

・学生数の減少に伴う収入減により、財政状況は非常に厳しいものとなっている中で、如何に学生数を確保するか、また、その学生数でどのような運営を行っていくか課題である。

〔改善の方策〕

・昨年に続き更なる経営の効率化と経費削減に努める。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

・特になし。

9　法令等の遵守

評　価　項　目	自　己　評　価 適　切…4　　ほぼ適切…3 やや不適切…2　　不適切…1
法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4　　(4)
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4　　(4)
自己評価を実施するとともにその結果を公開し、問題点の改善に努めているか	4　　(3)
個人情報に関し、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4　　(4)

〔現状と課題〕

・自己評価で出た課題の解消に取り組める管理体制を整備する必要がある。

〔改善の方策〕

・会議、研修を通して、全教職員での取組に努める。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

・特になし。

10　社会貢献・地域貢献

評　価　項　目	自　己　評　価 適　切…4　　ほぼ適切…3 やや不適切…2　　不適切…1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4　　(4)
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4　　(4)
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4　　(4)

〔特記事項〕

・社会貢献・地域貢献として、次の事業に参画した。

①文化庁管轄「伝統文化親子教室事業」

②北海道各種専門学校連合会主催「中学生お仕事体験」

③町内会との協力事業として「手打ちそば講習会」「花壇整備活動」

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

・特になし。

11　国際交流

評　価　項　目	自　己　評　価 適　切…4　　ほぼ適切…3 やや不適切…2　　不適切…1
海外研修や留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4　　(4)
留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4　　(4)
留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4　　(4)

〔特記事項〕

・姉妹校の仏国立調理専門学校シャトー・デ・クードレィ校から講師を招聘し特別授業を行った。
・海外研修旅行は企画・募集したものの、催行人数に至らなかった。
・留学生の在籍管理については、札幌出入国在留管理局から適正校の認定を受けている。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

・外国人が海外から来て教育環境を見て貰うことも有効。
・海外研修旅行のための積立の案内などを検討されては如何か。

7　学校関係者評価の総括と今後に向けての改善の方策について

≪目標・方策≫

1. 社会ニーズの変化に応じた人材育成

近年、世界情勢の緊迫化は、我が国の社会及び経済に多方面で深甚なる影響を及ぼしており、企業等においては経営基盤の見直しや人材確保が喫緊の課題として顕在化しております。かかる状況下において、専門学校に対する社会的要請も高度かつ多様化しており、求められる人材像は、従来の専門知識や技術の修得にとどまらず、時代の変化に柔軟に適応しうる応用力や創造性を併せ持つことが、ますます重要となっております。

本校におきましては、建学の理念たる「光と塩」の精神を今なお教育の根幹に据えつつ、関連産業界がいかなる人材を求めているのか、その実態を的確に把握することが、教育機関としての責務であると認識しております。今後も変化する社会の要請に敏感に応えるべく、常に情報の感度を高く保ち、得られた知見を速やかに教育課程に反映させることにより、時代に即応した人材の育成に一層尽力してまいる所存です。

2. 学生確保に向けた取組

少子高齢化の進展により、十八歳人口の減少傾向は今後も続くことが確実視されており、学生の確保は依然として厳しい課題となっております。かかる状況を踏まえ、本校としては、改めて本学が有する強みや魅力を再認識し、他校との差異化をいかに明確に打ち出していくかについて、不断の検証と見直しを行う必要があると考えております。

また、近年においては、社会人や既卒者に加え、少数ではあるものの外国人からの入学に関するお問い合わせも徐々に増加傾向にございます。このような多様な背景を持つ入学希望者に対応するためにも、SNS をはじめとする多様な広報媒体を積極的に活用し、幅広い層に向けた戦略的かつ効果的な情報発信に努めてまいります。

3. 教職員の資質向上に向けた取組

本校の教育における根幹は、卒業後ただちに各職場において即戦力として活躍できる有為な人材の育成にございます。しかしながら、それにとどまらず、学生一人ひとりが「つくることの歓び」や「学ぶことの意義」を深く実感できる教育の実現こそ、私どもの使命であると考えております。

この理念を具現化するためには、教職員一人ひとりが日々の研鑽を重ね、教材開発や指導法の工夫において不断の向上を図ることが不可欠です。今後も校内外における研修・研究の機会を積極的に整備し、教職員の資質と専門性のさらなる高揚を図ってまいります。

≪まとめ≫

光塩学園は、昭和二十三年の開学以来、豊富な現場経験を有する指導陣による実践的な教育を通じて、専門的知識と高度な技能を身に付けた数多くの人材を社会に送り出してまいりました。そうした卒業生は、今なお世界を舞台に力強く活躍を続けております。

この春、新たな卒業生が本校を巣立ち、それぞれの希望を胸に、専門職の道における新たな挑戦へと歩みを進めました。その前途が実り多きものとなることを、教職員一同、心より願っております。

また、学校関係者評価委員会の皆様からは、昨年度に引き続き、「光塩」への深い御理解と温かい御助言を賜りましたこと、あらためて厚くお礼申し上げます。

社会においては、長らく続いた感染症の影響もようやく落ち着きを見せ、日常の営みが戻ってまいりました。本校においても、実習・講義を含むすべての授業を対面にて実施できましたことは、教育に携わる者として大きな喜びでございます。

委員各位からの御助言を踏まえ、本年度も三つの重点方策を掲げました。従来の取組を堅実に継続するとともに、常に「学生にとって最良の学習環境を提供する」ことを信条に、時代の要請に応えるべく、果敢に新たな挑戦を重ねてまいる所存です。　　文責：髙橋　俊介　(学校長・本会委員長)